

JAFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

令和3年4月30日 発行 第82号

第34回理事会開催報告

去る令和3年3月12日(金)にオンライン会議システムZoomにて第34回理事会が開催されましたので、概要を報告いたします。

第1号議案 「釣りフェスティバル2021」オンライン開催に関する件

大村委員長及び事務局より「釣りフェスティバル2021」開催結果報告、「釣りフェスティバル2022」の方向性について報告があり承認された

第2号議案 委員会活動報告に関する件

- (1) LOVE BLUE委員会報告
- (2) JAF実行委員会報告(第1号議案を以て割愛)
- (3) 規格・安全委員会報告
- (4) 市場調査委員会報告
- (5) 広報・組織委員会報告

各委員長より今期最終活動見込み及び来期(令和3年度/2021年度)事業計画(案)に関して報告があり承認された

第3号議案 プロジェクト活動報告に関する件

- (1) 情報収集分析プロジェクトに関して
- (2) 海外戦略プロジェクトに関して

各リーダーより今期最終活動見込み及び来期(令和3年度/2021年度)事業計画(案)に関して報告があり承認された

第4号議案 令和2年度(2020年度)収支見込及び令和3年度(2021年度)収支計画(案)に関する件について事務局より報告があり承認された

第5号議案 会長・専務理事の職務執行状況の報告に関する件について会長及び専務理事より報告があり承認された

第6号議案 会員代表者変更及び入・退会会員に関する件について事務局より報告があり承認された

第7号議案 (一社)日本釣用品工業会名義使用許諾申請に関する件は案件がないため省略された

第8号議案 その他報告承認事項に関する件について事務局より以下の報告があり承認された

- (1) 一般財団法人生活用品振興センター賛助会員脱会に関する件
- (2) 1Fテナントの賃料減額依頼に関する件
- (3) その他

CONTENTS

第34回理事会開催報告	P.1
釣りフェスティバル2021オンライン開催報告	P.2
釣りフェスティバル2022オンライン開催のご案内	P.5
LOVE BLUE委員会からのお知らせ	P.5
規格・安全委員会からのお知らせ	P.7
海外戦略プロジェクトからのお知らせ	P.7
会員動向	P.8
事務局だより	P.8

目次

釣りフェスティバル ONLINE

Fishing Fest. 2021

業界初のオンライン開催！新製品がここに集まる！

釣りフェスティバル2021オンライン開催報告

JAF実行委員会（大村一仁委員長）では、釣りフェスティバル2021 in Yokohamaを、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、出展社、来場者および関係者の皆様の安全と安心を最優先に、パシフィコ横浜における開催を中止し、釣り業界初のオンライン開催を100社（団体）の出展を得て1月22日（金）から24日（日）までの3日間に実施いたしました。

会期中の3日間に、釣りフェスティバルの公式サイトをご視聴いただいた方は、約19万7千人、400万回以上を数え、2月25日までのアーカイブ配信を含めると、26万人以上の方に500万回もの来訪をいただきました。また、日本全国はもとより、海外100か国からもアクセスがあり、予想を大きく上回る結果となりました。これも偏にご出展の皆様のご協力があったることと深く感謝いたしております。

釣りフェスティバルは、時空を超えたグローバルな展開を見据え、世界が認める品質と釣具の進化の発信は元より、本来の目的である将来の釣り業界を支える“潜在層”（未経験意向者）をメインターゲットに釣りの楽しい世界観などを発信するサイトの構築に努めてまいりたいと考えています。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

公式HPサイト全体構成

来訪者数/PV数

	1/22~1/24	1/22~2/25	
	会期中	～アーカイブ配信終了	
ユーザー数	196,963	266,367	◆ユーザー数/サイトに訪問した数
PV数	4,226,371	5,090,611	◆PV数/閲覧されたページの合計数
セッション数	415,274	561,732	◆セッション数/延べ訪問数
ページ/セッション	10.18	9.06	◆直帰率/1ページしか閲覧しない割合
直帰率	8.38%	8.66%	

来訪者（国別）

◆全世界100ヶ国からの視聴があり、海外に向けた発信に一歩踏み出す事ができた

国	ユーザー数	構成比	直帰率
1 Japan	258,077	96.59%	8.55%
2 Taiwan	1,974	0.74%	4.57%
3 United States	1,444	0.54%	40.03%
4 South Korea	812	0.30%	5.69%
5 Hong Kong	635	0.24%	7.36%
6 China	620	0.23%	21.13%
7 Ukraine	333	0.12%	6.44%
8 Russia	319	0.12%	6.63%
9 Singapore	242	0.09%	10.85%
10 Australia	238	0.09%	13.55%
11 Malaysia	228	0.09%	9.86%

ユーザー数の多い上位10か国（地域）は、
アジア→台湾、米国、韓国、香港、中国、マレーシア
欧州→ウクライナ、ロシア
大洋州→オーストラリア

来訪者（都道府県）

◆全国47都道府県から人口1,000人当たり2.3人の視聴があった

地域	ユーザー数	構成比	人口比	直帰率
1 Osaka	46,034	15.96%	0.52%	9.44%
2 Tokyo	45,987	15.94%	0.34%	8.97%
3 Kanagawa	41,395	14.35%	0.45%	8.72%
4 Aichi	21,145	7.33%	0.28%	8.53%
5 Saitama	11,672	4.05%	0.16%	8.32%
6 Fukuoka	10,891	3.78%	0.21%	8.34%
7 Chiba	10,161	3.52%	0.16%	7.86%
8 Hyogo	9,255	3.21%	0.17%	8.37%
9 Hokkaido	7,571	2.62%	0.14%	9.46%
10 Shizuoka	7,039	2.44%	0.19%	7.44%

人口当たり視聴率が特に多かったのは、大阪、神奈川、東京、愛知、その他三重、福岡、静岡、滋賀など釣りの盛んなエリアの視聴が多かった

プログラム紹介（一例）

◆オンライン特設会場（パシフィコ横浜アネックスホール）からライブ配信を実施



司会進行：
井手大介氏、末川かおり氏、ハッピーマック
すみしま氏（お笑い芸人）、草場浩子氏

◆見どころ紹介！
釣りフェスティバルハイライト



「釣りフェスティバル」の公式Webサイト上で
展開される様々なプログラムの概要や見どころな
どを、スライド映像や動画などを交えながら紹介

プログラム紹介（一例）

◆インフルエンサーが出展各社のイ
チオシ新製品を、出展社ご自身か
らいただいたコメントを基に紹介



◆トップアングラー
トーク&ライブ/キャストイン
グライブ



インターネット回線を利用したライブ中
継配信（一例）



別会場とステージを中継で
つなぎ映像配信（一例）

プログラム紹介（一例）

◆トップアングラー
トーク&ライブ/キャストイン
グライブ



「釣りフェスティバル」ならではの釣種別に
人気プロアングラーをお迎えし、「トーク
ショー」「キャストインライブ」を行って
いただきオリジナルコンテンツを配信

◆バーチャル釣行を配信



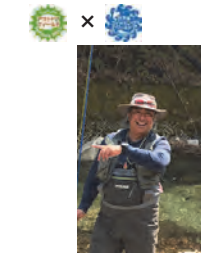
プログラム紹介（一例）

◆屋外で楽しめる「釣りめし」を彼
独自の視点で、簡単で美味しい
キャンプ飯を公開



「釣りめしキャンプ」

◆フライフィッシングの魅力や、ア
ウトドアと釣りとの親和性、アウト
ドアの楽しみ方などを伝授



「Let's Try フライフィッシング」

プログラム紹介（一例）

◆釣りめしスタジアム2021



コロナ禍で、厳しい状態に直面している外食業界を微力ながらサ
ポートさせていただくことを目的に、釣りフェスティバル2020の企画
として、オンライン上で「釣りめし」を紹介するコンテンツ「釣りめしス
タジアム」を実施

プログラム紹介（一例）

◆『はじめての釣り』Online



出展各社様が公開されている様々なジャンル
（釣種）の「釣りの始め方」講座（＝動画）の
動画サイトURLをご提供いただき、専用コー
ナーにてアーカイブ配信

◆釣りビジョン特番！「釣りフェスティ
バルオンライン2021新製品 全集中SP」



出展各社のイチオシ新製品を、出展社ご
自身からいただいたコメントを1月22日
（金）22:00～23:00に無料放送で紹介

クールアングラーズアワード アングラーズアイドル

クールアングラーズアワード

クールアングラーズアワードは3年連続で山下健二郎さん
が受賞。初の殿堂入りという話題性があり、様々なメデイ
アでのパブリシティ獲得につながった。山下さんご本人の
釣りにかける熱意が好意的に受け入れられた

第12代目アングラーズアイドル

12代目アングラーズアイドルは、池山智咲（いけやまちあき）
さんに決定いたしました。進考過程では、池山さんのひときわ明
るい笑顔や言葉が、なかなか先の見えないコロナ禍において、よ
り一層大事な魅力として映りました。自ら道を切り開き、力強く
釣りの魅力を広く発信する存在として、活躍してくれるものと信じ
、選出いたしました。

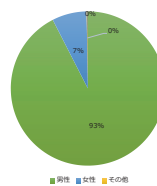
◆今後の活動への抱負
釣りだけでなくさんしたいという思いで、海の近い街「三重県尾鷲
市」に移住して、地域おこし協力隊としての活動の中で、その地
域ならではの魚種だったり、魅力的な釣りスポット、釣り大会、
釣り方などある事を知ったので、全国各地色々な地域へ行き、そ
の地域ならではの釣りを楽しみながら地域おこし、活性化まで繋
げていけるような活動をしたいです。私が釣りを楽しむ姿、成長
していく姿を見て少しでも多くの方に釣りに興味を持つきっかけ
となる存在になれるよう頑張ります！持ち前の元気と明るさで釣
り業界盛り上げます！



視聴者アンケート結果（抜粋）

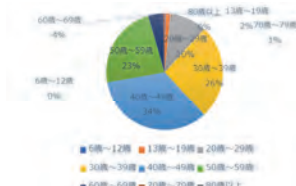
（N数8113人）

Q.性別

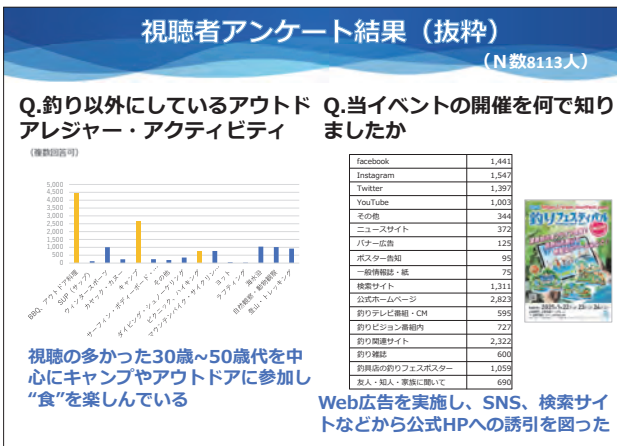
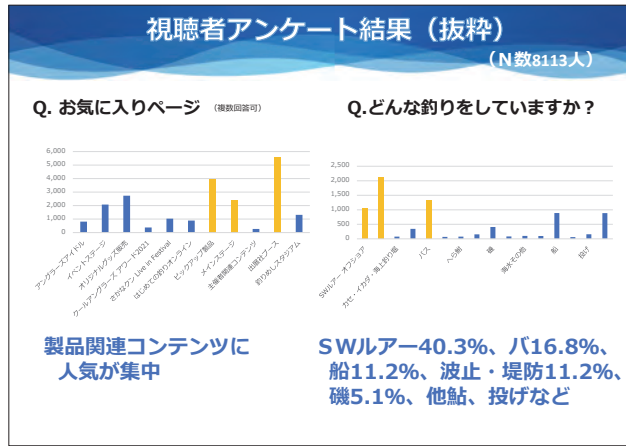
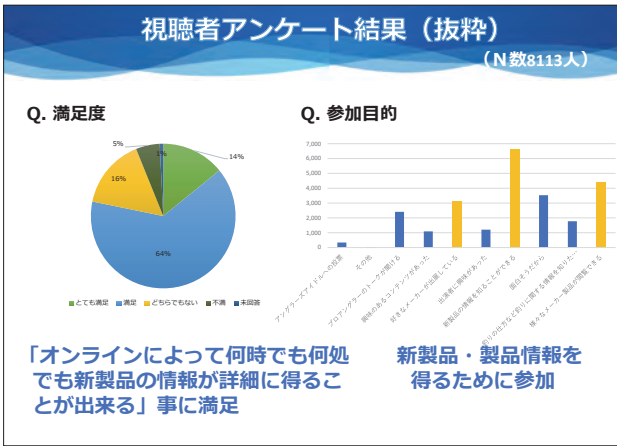


男性が93%

Q.年齢

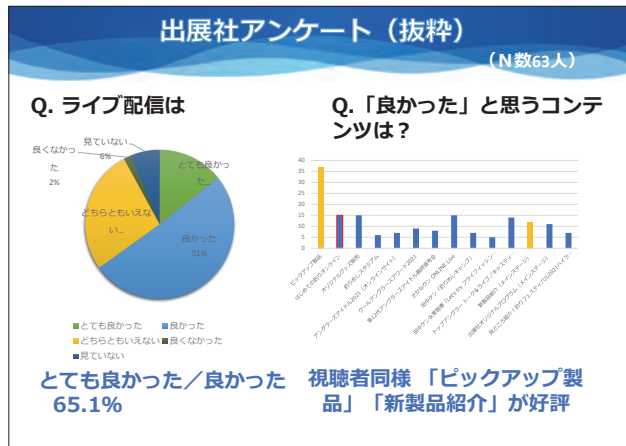


20歳～29歳が全体の93.8%



- ## 視聴者アンケート結果（抜粋）
- (N数8113人)
- 携帯でも見られるのでいつでもどこでも新製品の情報が知れたり、Liveなどがありとても良かったです！
 - 新たな商品をいち早く聞くことができ オンライン開催になった事で現地に行かなくて良かったです！
 - 各メーカーの新製品が確認できるのでとても良かったと思います。
 - コロナ禍の中、様々な工夫を凝らしこの場を設けて頂いて有難いと思う反面、やはり釣具を手で触って、実際に見て初めて少ないお小遣いをとれくらしい釣りにこれとこれは買えそうぞ、と言った一年の釣りの計画を練る重要な場としての釣りフェス。オンラインでは物足りないと感じざるを得なかった
 - 自分の興味のあるブースはもちろん面白いです、まだ知らない釣りや会社等も観ることができてとても有難い
 - 遠方の方等行けない人も多いと思うので、これからもオンラインは並行してやってほしいです。
 - 内容が充実していて、直ぐにでも釣りに行きたくなりました。このコロナのせいで、他府県に釣りに出かけるのも、人の目を気にするようになり、気が滅入っていましたが、参加してみて、気分が晴れましたし、本当に外に出て釣りに行かせて買いました。ありがとうございました。この気分を維持して、このコロナ禍を乗り越えたいです。
 - 離島に住なのでオンラインだと参加しやすいですが、まだまだ知らない釣りや会社等も観ることができてとても有難いと思います。いつかはリアル展示会にも参加したいです。
 - ユーザーが負荷に耐えれずダウンしてるサイトがたくさなかったため、そこが改善されるのであれば...
 - オンラインだから使ったことがないメーカーも 気軽にチェック出来るので良かったです。

- ## 視聴者アンケート結果（抜粋）
- (N数8113人)
- 現地での新製品使用状況等の細かな紹介もあり、とてもよかったです！オンラインでこれだけ楽しめるのは最高です！
 - 普段は混雑で商品が見えなかったり、時間切れで各ブース入れないなどあったが、ネットコンテンツならば、商品の情報が確認できて良い。なにより、雑音に因るコロナ感染のリスクがないのが一番。来年以降もコロナの影響が出ると思われるため、来年もオンライン開催を願う
 - 出展者ブースにももう少しオンラインコンテンツを濃くしてくれとよいと思います。各メーカーの動画、セミナーを配信すると釣具の使い方や、どんなところに工夫がしているかがわかります。ステージも良いが、訪問型も充実するとよいと思います
 - 入場料金や交通費が掛からないWE B開催は、大変ありがたいです。
 - オンラインだから使ったことがないメーカーも 気軽にチェック出来るので良かったです。
 - 新製品などを実際に手に取ることが出来るオフラインと、トークイベント等はオンラインがありがたいので、両方併用がうれしい
 - 入場料が高くなってまいりませんので来年は開催してください。心より楽しみに待っています。
 - 入場料金や交通費が掛からないWE B開催は、大変ありがたいです。
 - オンラインはメーカー毎の押し商品がまとまってることや会場に足を運ばなくても見れるメリットがあるが、逆に製品を前にして直接、スタッフやプロから製品の使用感や聞けないデメリットもあると思う。一長一短だと思うが、オンラインは新製品をまとめて把握できる魅力があると思う。
 - コロナが終息しても、オンラインがあってもいいと思う



- ## 出展社アンケート（抜粋）
- (N数63人)
- 「オンラインでできること」に関して、どのようなことをすれば、どのような効果が得られるのか分かり、大変有意義でした。今回、出展できて良かったと感じています。
 - 対面接客が無いので、来場者の感想がつかない。
 - 広く伝えることに関してはオンラインで盛り上がりを見せた。ただ、開催時期が緊急事態宣言発令時期と重なったことで、スターの出演がリモートや録画ばかりになり、100%全力では取り始めなかった。
 - どのように開催されるのか知らない方（販売店も含め）が多数。自分の見たいブランドが見つけない
 - オンラインは良いと思います。コロナ過でなければメーカーのセールスが新製品の説明をしたい。来年はオンラインとパシフィック横浜の両方を行ってはどうでしょうか。
 - 初めてのONLINE開催という試みでしたが、チャレンジという観点からすれば実施して良かったと思います。しかし、実施したことに満足せず、多方面からの意見、結果を集約して今後活かせるようにできればと感じました。
 - 実際に接客することがないので、顧客の反応がわからず、効果測定は出展者のページビューに頼るしかない
 - 今回初めてのオンライン開催ということで、どのような感じになるのか期待と不安もありましたが、当初の想像以上に反響がありました。出展してよかったと感じています。メインの3日間終了して、一般の方の反応を見ていると、ライブ配信を楽しみにしていた方が多かったのではないかと感じました。
 - オンラインの方が多くのユーザーに見ていただけたのかもかもしれません。
 - 主催母体が異なるので難しい問題ですが、釣りフェスティバルと大版フィッシングショーどちらもオンライン開催になると、出展者としては同じ内容の展示となってしまう差別化が難しいと感じました。

- ## 出展社アンケート（抜粋）
- (N数63人)
- 初めてのオンライン開催という事で分からない事が多くありましたが、。低価格で自社の製品をアピール出来たのではないかと思います。
 - 新製品、注目商品を短時間でチェックしたい人にはとても良いと感じた。実際に手に取ってみたいと特徴や良さを感じられないアイテムなどは動画などを活用したとしても伝えられる情報に限界があると感じた
 - コロナ禍において最善の策であったと思います。
 - ユーザー様からオンラインより実際に会えるリアルイベントの方が良いとの声を頂きました。来年こそはリアル開催したいです！
 - 2020-2021のコロナ渦の中で、時代のニーズにあった開催形式だったと感じます。また全体でのPV数をみればかなりの集客があり、【釣り(外遊び)】の訴求、活性化に繋がったのではないかと存じます。
 - 一担当の意見としては、自社WEBサイトに掲載している情報をわざわざ手間を掛けて準備するのは効率が悪く感じますし、商品紹介のページを作成するメリットが感じられません。
 - 弊社と致しましては費用対効果よりも業界への協力という意味合いで出展しておりますので、コロナ渦でオンラインでもイベント開催にご尽力頂いたこと感謝致します。ただし、SNSを活かすコンテンツ(動画・インフルエンサー等)を持ち合わせない出展メーカーにとっては残念ながら出展効果が薄いと感じました。
 - オンラインなので海外を意識して英文説明等しましたが、そもそも海外の方が利用できるようなシステムにあっていかずガッカリした。
 - オンラインで、国内のみならず海外からの問い合わせができた効果があったと思います。

～釣りフェスティバル2022オンライン開催のご案内～

釣りフェスティバル2022は「リアル&オンライン」併用の開催を検討してはりましたが、コロナ禍による先の予測が見込めない状況の中、参加者および関係者皆様の安全・安心を鑑み、2022年1月21日（金）から23日（日）までオンラインにて開催いたします。

出展社の皆様および主催者側双方のリスクを最小限にとどめ、今回の準備期間不足を補うことを考慮しての決定でございます。何卒ご理解と積極的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

LOVE BLUE委員会からのお知らせ

今年度も会員企業の皆様、参加企業・団体の皆様のご理解とご協力のもと、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業は、日本全国において公平に優先三事業（水辺をキレイに、サカナを守ろう、フィールドを広げよう）を推進してまいります。何卒よろしくようお願い申し上げます。

LOVE BLUEプロダイバーによる水中クリーンアップ活動

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動（1月から3月）では、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が国から発令された関係で実施を延期いたしました。新型コロナウイルスで延期した分は2021年度追加して実施を行います。（2020年度累計1道1府14県24箇所109日実施：3月末現在）

2021年度も社会情勢などを見極めながら、引き続き、安全作業を最優先に、ご関係の皆様と連携しながら実施してまいります。

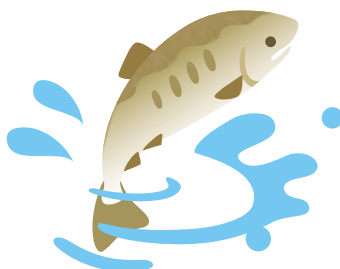


沖縄県読谷村 都屋漁港

LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業

2020年度LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業は11府県のご関係先と連携をし、9魚種735万6305尾放流いたしました。

県	専門機関	魚種	尾数
青森県	(公社) 青森県栽培漁業振興協会	ヒラメ	15万7100尾
山形県	(公財) 山形県水産振興協会	クロダイ	1万8880尾
秋田県	(公財) 秋田県栽培漁業協会	マダイ	2万220尾
		クロソイ	2万尾
		ヒラメ	3万2105尾
神奈川県	(公財) 神奈川県栽培漁業協会	マダイ	9万8000尾
静岡県	(公財) 静岡県漁業振興基金	カサゴ	5000尾
		マダイ	3万尾
大阪府	(公財) 大阪府漁業振興基金	ヒラメ	3万尾
		キジハタ	1万尾
大分県	(公財) 大分県漁業公社	ヒラメ	4万4200尾
		イサキ	5万6200尾
鹿児島県	(公財) かごしま豊かな海づくり協会	マダイ	10万1000尾
新潟県	(公社) 新潟県水産振興協会	ヒラメ	8万尾
滋賀県	(公財) 滋賀県水産振興協会	ホンモロコ	400万尾
		ゲンゴロウブナ	250万尾
熊本県	(公財) くまもと里海づくり協会	カサゴ	7万6800尾
		イサキ	7万6800尾



JAFTMA NEWS

2021年度専門機関と連携した放流事業は3県が追加され、11府県で放流予定になります。

県	専門機関	魚種	県	専門機関	魚種
秋田県	(公財)秋田県栽培漁業協会	マダイ クロソイ ヒラメ	新潟県	(公社)新潟県水産振興協会	ヒラメ
神奈川県	(公財)神奈川県栽培漁業協会	マダイ カサゴ	滋賀県	(公財)滋賀県水産振興協会	ホンモロコ ゲンゴロウブナ
静岡県	(公財)静岡県漁業振興基金	マダイ ヒラメ	熊本県	(公財)くまもと里海づくり協会	カサゴ イサキ
大阪府	(公財)大阪府漁業振興基金	キジハタ	山口県	(公社)山口県栽培漁業公社	マダイ
大分県	(公財)大分県漁業公社	ヒラメ イサキ	長崎県	(株)長崎県漁業公社	カサゴ クエ
			宮崎県	(一財)宮崎県水産振興協会	カサゴ

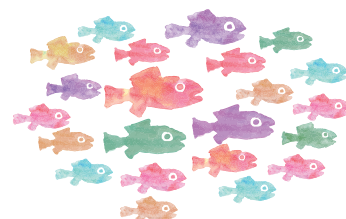
水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業 内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

水産庁後援事業として、全国からの応募受付(期間6/22~9/30)を終了し、2020年度採択団体が決まりました。

尚、応募要領は水産庁から各都道府県担当部局、全国内水面漁業協同組合連合会から各都道府県内水面漁業協同組合連合会等、さらに、中央水産研究所内水面センターから各都道府県水産試験場へ配布・周知されておりました。

2020年度採択団体

採択番号	事業主体	実施地
014	加古川漁業協同組合	兵庫県 東条湖
015	西網走漁業協同組合	北海道 網走湖
016	川俣湖漁業協同組合	栃木県 川俣湖
017	魚沼漁業協同組合	新潟県 奥只見湖
018	花山漁業協同組合	宮城県 花山ダム



地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金と連携したLOVE BLUE助成では、本事業で採択された水辺の環境保全を目的に活動する11団体(2015年度助成開始以来累計51団体)が、各地で活発に活動されています。各団体の皆様からは「LOVE BLUE助成のおかげで、より充実した活動が行えており、釣人の皆様に深く感謝します!」とお喜びのお言葉をいただいております。引き続き、水辺を守る皆様と連携しながら展開してまいります。

2020年度採択団体は11団体になります。



県	団体名	県	団体名
宮城県	みやぎ環境とくらしネットワーク	兵庫県	神戸海さくら
山形県	パートナーシップオフィス	石川県	能登半島おらっちゃ里山里海
埼玉県	ジョイライフさやま	香川県	アーキペラゴ
東京都	全国川ごみネットワーク	福岡県	宗像フェス実行委員会
東京都	DEXTE-K	鹿児島県	くすの木自然館
神奈川県	スピリッド・オブ・セイラー		

2021年度採択団体は新規が3団体含む合計11団体になります。

県	団体名
東京都	アイサーチジャパン
大阪府	大阪海さくら
埼玉県	ジョイライフさやま
東京都	全国川ごみネットワーク
東京都	DEXTE-K
神奈川県	スピリッド・オブ・セイラー

県	団体名
兵庫県	神戸海さくら
石川県	能登半島おらっちゃ里山里海
大阪府	大阪自然環境協会
福岡県	宗像フェス実行委員会
高知県	夢創房室戸迎鯨の杜

規格・安全委員会からのお知らせ

ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ

規格・安全委員会LJWG（高階才文リーダー）では、ライフジャケット着用の啓蒙から点検の重要性を伝えるにあたり、1月22日（金）からオンライン開催の釣りフェスティバル2021に活動を掲載いたしました。

また、引き続き、着用の啓蒙や点検の重要性を伝える活動を実施してまいります。

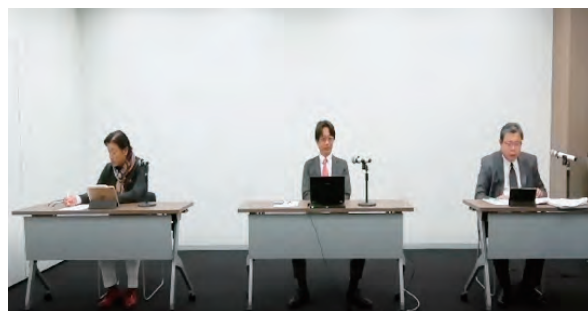
海外戦略プロジェクトからのお知らせ

海外ビジネスオンラインセミナー開催報告

海外戦略プロジェクト（高階義尚リーダー）では、会員の皆様からのご要望のもと、4月16日（金）オンラインにてセミナーを開催いたしました。当日は35社71名の皆様にご参加いただきました。

セミナー当日は株式会社国際協力銀行様から海外子会社向けファイナンス支援策「中堅・中小企業様の海外投資に必要な資金調達支援策に関して」、日本貿易振興機構様から海外ビジネス展開に向けての総合支援制度「新輸出大国コンソーシアムと専門家等による海外展開支援サービスについて」のご説明をいただきました。また、後半ではメキシコ・中東（U.A.E）の釣り事情を語る会を開催し、海外駐在経験の豊富な方々からご説明をいただきました。

ご多用の折、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。今後とも、当プロジェクトでは皆様方のお役に立つ情報等の発信に努めてまいります。



セミナーの様子

会員限定 Tackle Trade World 「DOING BUSINESS WITH... Collection」のご提供

海外戦略プロジェクトでは、著名な海外釣りビジネス誌である、Tackle Trade Worldより、海外25か国の釣りに関する情報を取りまとめた記事の提供を受け、当工業会ホームページ会員専用ページに公開を行いました。会員専用ページの閲覧方法等は、当工業会事務局メールアドレスinfo@jaftma.or.jpまでお問い合わせください。



会員向け初回無料法律相談の実施

会員の皆様へ、初回無料で法律相談をご利用頂けるサービスのご提供を行っております。初回無料法律相談の詳細は、別添資料をご覧ください。

会員動向

株式会社スミスでは、3月に下記の通り人事異動が発表されました。

代表取締役 鳥居 祐二 氏

なお、鈴木 仁一 氏は代表取締役を退任し相談役に就任されました。

ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社では、2月に下記の通り人事異動が発表されました。

代表取締役 吉川 祥一 氏

なお、林 健児 氏は代表取締役を退任されました。



事務局だより

- ◆総務省・経済産業省では、本年6月に全ての事業所・企業を対象とした「令和3年経済サリセス—活動調査」を実施します。5月に調査票が配布されましたらご回答をいただきますようお願い申し上げます。
- ◆会員専用 賠償責任保険制度のご案内をお送りいたしました。ご加入をご検討いただけますと幸いです。賠償責任保険制度の詳細は事務局までお問い合わせいただくか、当工業会HP http://www.jaftma.or.jp/standard/index_osirase.htmlをご覧ください。
- ◆新型コロナウイルス感染症の拡大が続いております。皆様方におかれましては、くれぐれもご自愛くださいようお願い申し上げます。当工業会は、感染拡大防止を鑑み、引き続き、時短勤務・時差出勤を導入しております。皆様方にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

JAFTMA
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人
日本釣用品工業会

〒104-0032東京都中央区八丁堀2-22-8日本フィッシング会館5F
TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <http://www.jaftma.or.jp/>